

裏路地探険

玄武岩の重厚な石垣が伝える「宵田のい」と
但馬各地から人や物が集った商人の町
元気を発信するカバンストリートを歩く

宵田商店街を歩く／豊岡市中央町

その昔、「三たん(但馬・丹後・丹波)一の商店街」と呼ばれた豊岡市の宵田商店街。通りを歩けば、人の肩にぶつかるといふほど賑わいを見せたという。4代、5代と続く老舗の商店や家屋が軒を連ねる。

宵田の商店街が発展したのは、羽柴(曹臣)秀吉の但馬平定後、神武山に豊岡城が築かれ、城下町が形成されたことに始まる。江戸時代には、山のふもとに陣屋が置かれ、藩邸のあった現在の豊岡市立図書館(京町)を取り囲むようにして、武家屋敷が建てられていた。そこから北へ進み、戸牧川にかか



カバンストリートのメインショップ「カバンステーション」。365日、全て配色パターンが違う「パースデオート」や、コウノトリをデザインしたカバンなど、オリジナルバッグが並び、手作り体験もできる。



豊岡靴協会長を務めるカバン職人、植村美千男さんの工房にて。豊岡のカバン業界の生き字引といえる存在。



但馬でも歴史の古い商店街だけあって、レトロなお店が軒を連ねる。アーケードの上を歩いて歩くのも、おすすめ。



商店街のカバンサテライト参加店では、ショーウィンドウにカバンを飾り、販売もしている。それぞれのお店の雰囲気や合ったカバンを置いて、カバンストリートを盛り上げている。銀行のウィンドウ(左)にも、カバンがディスプレイされているのが面白い。(※販売はしていません)



国道沿いに設置されている、全国的にも珍しい「カバンの自動販売機」。ボトル缶に入ったトートバックを販売している。信号待ちをしている車の人も思わずびっくり!

では、なぜ宵田が商人の住む町となったのか。その答えは、円山川の歴史に隠されている。市民会館前を流れる廢川は、昔、円山川の本流であった。車のない当時、輸送の主役は船。川沿いには、「宵田のい」と呼ばれる船着き場が整備され、年貢米を始め但馬の大部分の物資が運ばれてきたという。また、城崎温泉に向かう湯治客も円山川の船便を利用したとい

い、まさに人と物が集まるターミナル港であった。「宵田のい」は円山川の洪水の度に補強され、大正年間には石垣の高さは3〜4メートルを誇り、時代が経つにしたがい堅固な護岸になったという。岸から約30メートル先まで敷き詰められた沈石が、難工事を物語る。

古老から伝え聞いたという地元の人々の話では、家の裏から釣りができたという。川が身近にあったことを偲ばせるエピソードだ。

輸送の主役が鉄道、車に変わるにつれ、その役割を終えた「宵田のい」と。現在は国道312号の下に眠っているが、宵田橋から割烹「とゞ兵」さんの家の下を望むと、玄武岩で構成された立派な石垣が残り、往時の様子を伝えている。

お食事処

大浴場温泉入浴付

エステサブリ風呂

大自然とせせらぎに
包まれた心温まる宿

地元還元プラン

日頃のご愛顧に感謝を込めて

「T2を見た!」の一言で泊朝食通常6,000円がお得に宿泊! **5,000円!**

お食事プラン (お1人様料金)

- ・但馬牛コース…………… 6,000円
- ・黒あわびコース…………… 6,000円
- ・但馬牛+黒あわびコース… 9,000円
- ・特選グルメコース…………… 12,000円

至豊岡市街 至久美浜

兵庫豊岡市小島1188-8
TEL.0796-29-6009
FAX.0796-29-6019 http://www.s-hidamari.com/



宵田橋からひまわり公園を望む。下を流れる戸牧川は、豊岡城下の内堀の役目を果たしていた。

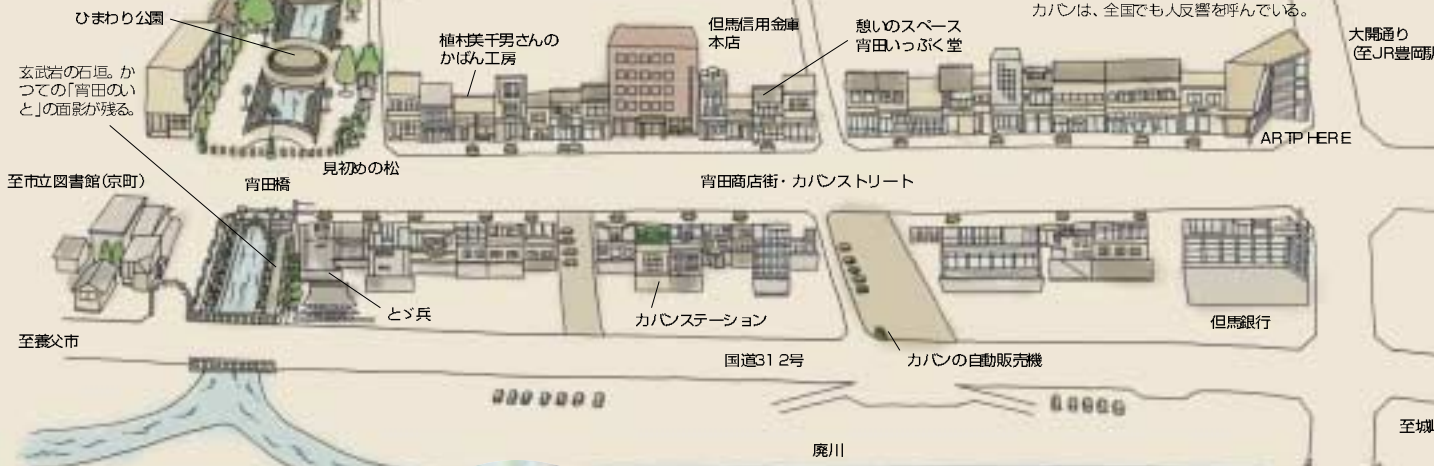


アーケードには、カバンストリーットの文字

宵田橋にある「見初めの松」。周辺には、人石内蔵助の妻・りくの実家である石工家があったとされ、内蔵助がりくを見初めた場所という伝承が残る。反対側には、りくがぶつ返ったという「見返りの松」がかつてあった。



カバン専門店「ART PHERE(アートフィア)」。オーナー兼デザイナーの由利佳一郎さんは、なんと6代目。人人のごだわり旅をテーマに機能美を追求した斬新なカバンは、全国でも人反響を呼んでいる。



●裏路地探険隊員募集
平成20年10月4日(土)
「生野銀山町を歩く」朝来市生野町

*実施日の10日前までに、18ページ掲載のT2編集部へ、住所・氏名・年齢・電話番号・「裏路地参加希望」とお書きの上、ハガキにてお申し込みください。開催は午前中、現地集合・現地解散となります。申込締切日後、案内を参加ご希望の方へご送付致します。



江戸末期創業の割烹「とろ兵」さんの家の下には、玄武岩で造られたかつての「宵田のい」とが残る。店内には、とろ兵の由来となった「とど」のはく製が置かれている。



古地図をもとに説明する河間区長さん



案内役をお願いした宵田商店街旅興組 理事 兼 先正雄さん

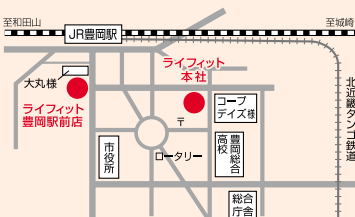
これら城下町の建設には、町衆と呼ばれる名主が民衆を率い、町づくりを行ってきた。江戸時代には名字帯刀を許される商家もあり、時には私財を投げ打って宵田の開発に尽くしてきたという。こうした町衆の心意気は、現代も脈々と受け継がれている。「カバンストリート」は、商店街と豊岡の地場産業であるカバン産業の活性化を目的として、平成17年に始まった新たな挑戦。カバン専門店「カバンステーション」を中心に、洋服屋やクリーニング屋などのショーウィンドウにカバンが飾られて、販売もしている。さらに、カバンの自動販売機があるのも面白い。

通りには、キャリア50年以上のカバン職人・植村美千男さんの工房も出店。宵田商店街の依頼を受けて、「カバンストリート」設立と同時にオープンした。全国からカバンの修理が寄せられるカリスマ職人で、店内は地元やカバンを愛する人の社交場ともなっている。

時代の変遷とともに、その姿を変えた宵田の町並み。しかし、町づくりにかける町の人々の気持ちは、昔も今も変わらないことを教えてくれる。

不動産ならライフフィット!

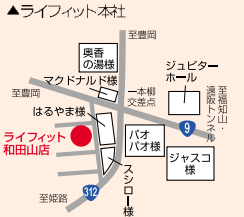
●大活躍! 情報誌「ライフフィットタイムズ」**無料進呈中!** 土・日曜も営業しています! お気軽にお立ち寄り下さい!
●ご希望の物件をホームページでラクラク検索!



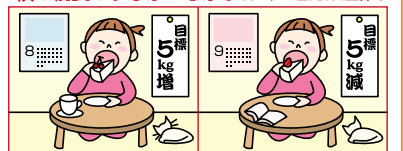
ライフフィット本社
豊岡市加広町3番28号 E-mail:info@lifit.jp
TEL.0796-24-2011 FAX.0796-24-2077

豊岡駅前店
豊岡市大手町1番27号 E-mail:ekimae@lifit.jp
TEL.0796-26-6565 FAX.0796-26-6566

和田山店
朝来市和田山町玉置11074サンライズ和田山102号
TEL.0796-72-6565 FAX.079-6-72-6566
E-mail:wadaya ma@lifit.jp



秋の夜長のまがいがさし(6コ)*答えは店頭で



北近畿の不動産情報をいち早くお届け
LIFIT 株式会社ライフフィット
(社)兵庫県宅地建物取引業協会会員
全国宅地建物取引業保証協会加盟
賃貸不動産管理業協会加盟
宅地建物取引業者免許 兵庫県知事(4)65 006 1号
http://www.lifit.jp/